

苦痛の少ない消化器内視鏡検査 アンチエイジングで健康長寿を



「体調がすぐれず病院を受診するだけでなく、体調管理や健康維持、病気の早期発見や予防のために役立ちたいと思っています。どんな小さなことでも気軽にご相談ください」と石院長。2015年8月には電子カルテを導入。より迅速な対応に努めている

1981年の開設以来、胃腸科を中心に内科全般にわたり地域に根差した医療に努めてきた「いし胃腸科内科」。2012年4月より院長を務める石忠明院長は、「患者さんの話をよく聞き、説明は分かりやすい言葉で理解が得られるよう丁寧に行い、患者さんの要望に応えられる診療を心がけています」と話す。

胃腸科・内科として、特に消化器疾患の早期発見・治療に力を入れ、内視鏡による「苦痛の少ない検査」に努める。胃カメラは経鼻内視鏡、大腸カメラはおなかの張りを少なくするCO₂送気を導入。患者の希望に応じて、鎮静剤も使用しながら胃カメラ・大腸カメラ検査を積極的に行っている。「内視鏡検査に対して、一般的に苦痛を伴うという印象を強く持たれていますが、苦痛なく気軽に受ける検査であると認識していただけるよう医療技術の向上にも努め

ています」と石院長。胃がんや大腸がんの早期発見をはじめ、胃潰瘍やピロリ菌感染性胃炎、大腸ポリープや虚血性腸炎、特定疾患である潰瘍性大腸炎などの治療にも積極的に取り組む。大腸ポリートの切除は日帰りで実施。日帰り手術が難しい場合や、胃・大腸がんについては、提携病院との連携による安心の体制も整っている。

また、石院長は日本抗加齢医学会専門医の資格を持ち、アンチエイジングという観点から「健康長寿」を目指した、最適で最新の医療の提供にも力を入れる。「狭心症や心筋梗塞の原因となる動脈硬化も加齢にともなう変化の一つです。禁煙外来も肺疾患予防はもちろん、喫煙はシワやシミなど美容にも影響を与えます」。病気の予防とアンチエイジングを組み合わせた診療にも積極的に取り組み、骨粗しょう症治療、プラセンタ注射も患者から好評だ。



- ① 肺炎球菌ワクチンやインフルエンザワクチンなど各種予防接種も実施。駐車場も完備し利便性も高い
- ② 最新の経鼻内視鏡も導入される
- ③ 腹部エコーで肝臓、胆嚢、腎臓、膵臓に異常がないか、早期発見に努める

院長 石忠明氏

2004年岩手医科大学卒業。12年より現職。日本内科学会認定医。日本消化器病学会・日本消化器内視鏡学会・日本抗加齢医学会各専門医。日本医師会認定産業医



胃腸科・内科

医療法人社団

いし胃腸科内科

診療時間／
 月・水・木 8:30～12:00 13:00～17:00
 火・金 8:30～12:00 13:00～19:00
 土曜 8:30～12:00
 休診日／日曜・祝日
 最寄りアクセス／
 地下鉄南北線南平岸駅から徒歩3分

☎011-813-1220

札幌市豊平区平岸3条14丁目1-5
<http://www.ishi-ichouka-naika.com/>